



“ホット”なネットワーク!

かんちゃん通信 第8号

こころ きずな
心の絆号 2017年12月15日発行

2017年夏から秋にかけて 多文化共生・地域交流会(子ども食堂モデル事業)を5回開催しました

たがいに つながりあい 頼りあえる ホットなコミュニティに!



「日本にはない楽器を
さわれたので、とても
楽しかったです。」

(10月のホットルーム)



年齢や国
籍が違っ
ても、言
葉が通じ
なくても、
音楽は人
と人をつ
ないで、
ひとつに
するんだ
なぁと感
じました。

ケチャや太鼓でみんなと遊んで楽しかったです。もっといろいろな音あそびができるかも知れないと思いました。みんなは、どんな音あそびを思いついたかな、次に会った時に教えてね♪ (4ページに関連記事)

浦田ひろみさん(写真中央)

♥リズム遊びや楽器の演奏・・・ミゲル・リマさん、浦田ひろみさん、原田朋浩さん、ありがとうございました。



「お兄さん、お姉さんと
カレーを作ったよ。おい
しかったです。また、
作って食べたいです。」

(8月のホットルーム)

子どもがキラリと輝くとき
あなたの心もぴょこんと動きだす♪

「やきそばを作ったのは
初めてだったので、少し
緊張しました。」

(7月のホットルーム)



えっ! 昔、「かんちゃんの小さな家」の近くに蒸気船の船着場が! (3面)

おねがい(^^♪ 「かんちゃんの小さな家」サポーター(友の会)会員募集中!

多文化共生・地域交流会 早いもので・・・もう3年が過ぎました♪



楽しかったね♪ 2017 年(後半) 写真のひとこま

ゆい
結

沖縄の唄・踊り お昼は・・・トルティーヤ



総勢 60 人を超えた交流会！学生スタッフによるクイズ大会は、グループで相談しあったりして盛り上がったね。

7 月 2 日 (日) 常楽寺老人憩いの家



◇「三線、踊り、衣装、すてきでした。歌は、みんなの心が一つになるようで良かったです。トルティーヤもおいしかったです。毎回、素敵な企画をありがとうございます。」



- ◇「いろんな国の『こんにちは』が良かったです。」
- ◇「トルティーヤのきじが、パンみたいでおいしかったです。さんしんで、きょくが引けて良かったです。」
- ◇「クイズ大会、はりきってしました。」

アートバルーンと焼きそば そして かき氷！



アートバルーンのアドバイザーは、地元の梅原修身さんをお願いしました。ふうせん遊びの楽しさが、子どもたちの雰囲気から伝わってきます。

7 月 2 9 日 (土) 愛宕町集会所

遊

プチ夏まつりは、カレーとポップコーンと かき氷！！



8 月は、プチ夏まつり♪学生さん、パワー全開でした！お兄さん、お姉さん、またあそぼうね！

8 月 2 6 日 (土)

かんちゃんのかき氷
ットなユニナ



一・・・特集「1枚の絵」

えっ！ おかし 「かんちゃんの家」の近くに蒸汽船の船着場が！！

常楽寺港 午前十一時 → 大津港 午後七時



昔のこと 教えてください

●かんちゃんの小さな家から数分歩いた所にある常ノ浜。そこから、こんな大きな蒸汽船が発着していたなんて！…地域の方から写真を見せてもらって、びっくりしました。この写真に関するエピソードや、その当時の船着場って、どんな様子だったのだろうか？とっても興味がわいてきました。↑

常楽寺港

[港の起こりと木村城]

常楽寺港の一角に低く石積みを巡らせた五反(5000 m²)ほどの畑地があり堀が巡っている。[常浜]にある小さな橋は[錠の橋]といい、かつては錠前がついた門があって、ここから先の船着き場には、自由に出入りができなかったという。

橋の西側に太湖汽船の切符売り場があって、第2次世界大戦直後頃までは琵琶湖周航の汽船乗り場として利用されていた。

このように室町時代から港の機能を持って栄えてきた常楽寺…明治29年以降には鉄道の開通により人や物資の搬送が、船から鉄道へと切り替えられたことで港は衰退していった。

(「安土ガイド協会」資料より抜粋)

●昔の「常ノ浜」や「西の湖」、かんちゃんの小さな家の隣りを流れている「盆川」の話や、小さい頃に遊んだ思い出なども教えてください。子どもたちの交流会などで紹介していきたいと思います。



10月

タピオカクレープ

「もちもちしてて

とってもおいしかった！」

お母さんの感想より

◇クレープは、水を使わずに不思議でした。おいしくて、子どもたちも喜んで食べました。

◇粉だけでクレープができることにびっくりしました。子どもたちにも簡単に作れて、とっても良かったです。



11月 パステウを作ったよ！

「今日は、学校で習っていない初めてのことをたくさん知りました。ブラジルのあいさつやクイズで、ブラジルの生活に使うものを考えたり、コーヒー豆や人形の耳についているピアスにおどろきました。

初めて出会った友だちとも仲良くして、かた車などをしてあそびました。パステウもチーズが溶けて、とてもおいしかったです。」

子どもたちの感想「ブラジルボックスとパステウ」より





世界の楽器と一緒に 音やリズムを楽しもう♪

(1)

(1ページからの続きです) 10月7日のホットルームでリズム遊びをリードしていただいたミゲル・リマさんと、原田朋浩さんからのメッセージを紹介します。

ミゲル・リマさん(日野町)



子どもたちに
南アメリカの
笛(サンポー
ニャ)を演奏

みんなの音が一つに溶け合っていた感じでした♪



♥一昨日のリズム遊びと演奏を通して、子どもたちに伝えようとしたことを教えてください。

「色々な国の楽器やうた、音をみんなに紹介できたらいいなと思いました。みんなが音楽をすることに興味をもってくれて、それを自由に、思い切り表現してくれるといいなと思って、太鼓やリズムの遊びと音楽を用いました。」

♥子どもたちの取り組みや様子のなかから感じられたことなど…

「子どもたちとの出会いは、最初の印象では皆シャイかな？と感じましたが、少しずつお互いが慣れていって、段々とみんなの音が一つに溶け合っていたように思いました。皆で喜びと学びの楽しい時間を作ることができたと思います。」

リズム遊びの楽しさって♪



ケチャのリードやジャンベの演奏ありがとうございました

かんちゃんの小さな家の10月のホットルームのテーマは、リズムを楽しむというものでしたが、楽器を使ったものや、声を使った「ケチャ」のリズムなども、ベースにあるのは「異なった複数のリズムを重ねる面白さ」というものでした。

1つのリズムに別のリズムを重ね合わせる時、そこには緊張感と調和が生まれます。自分の中にあるリズムと外にあるリズムが、時には主張しあうように、時には協調し合うように交じり合う感覚こそリズムアンサンブルの醍醐味です。

他者のリズムに気を取られすぎると、自分のリズムを見失ってしまったり、逆に外のリズムを遮断して自分のリズムに集中しすぎると、他者と共有するはずの、重なり合うリズムの場から取り残されてしまいます。

自分のリズムと他者のリズムを、同じような比重で感じるのが、リズムのアンサンブルを楽しむための極意です。これは、人間社会のつながり方にも似ています。自分のことばかりに気を取られていると、社会とうまく折り合えなかったり、周りばかり気にしていると、自分の中にある声が聞こえなくなるようなことです。^

世界にはいろんなリズムアンサンブルがあります。4/4拍子に3/4拍子を重ね合わせるような、「ポリリズム」と呼ばれるものもあります。

重ね合わせるリズムが異質になればなるほど、慣れないうちは違和感ばかりが優先しますが、その中に存在する独特の調和を感じられた瞬間、そのアンサンブルの楽しさ、美しさに感動します。

人間社会もきっとそうなのでしょうね。異質な他者であればあるほど、自分の中のリズムとの間に生まれる特別なアンサンブルに気付くことは難しいけれど、それに気付くことができれば、世界は前よりもずっと美しく楽しい世界になっているはずです。

無理に難しいリズムに挑戦することはないけれど、少しずつ多様なリズムに自分のリズムを重ねてみると、また違った世界が見えてくるかもしれませんね。





かんちゃんの小さな家

交流のひろば



**地域で子どもを育てる「子ども食堂」
～かんちゃんホットルームに参加して～**

小さな子どもから、学生さん、地域のおばあちゃんたちと、いろんな年代の方が参加されていて、地域で子どもを育てるという感じがすごかったです。こんな、人と人とのつながりを大切に、広がっていくといいなと思います。本当に、ほっと心が温かくなるひと時でした。 三線サークル“くる”

長谷佳鶴さん(近江八幡市)

私もたくさん勉強させてもらっています

リズム遊びは、小さい子どもからお年寄りまで、みんなで楽しむことができたので、とても意味ある時間でした。同じグループの子どもたちと、タピオカクレープを一緒に作ったり、楽しく遊んだりするなかで、私もたくさん勉強させてもらいました。継続して、このボランティアを続けることで、見えてくるものが少しずつ変われると思うので、今後もぜひ参加させていただきたいと思います。

学生ボランティア

加藤祐衣さん(京都市)

「かんちゃん通信、これからも楽しみにしています。今は、サポーターになることしかできませんが、応援していますので、子どもたちのために益々頑張ってください。」

友の会の会員 (岐阜県・東京都)

**サポーターの皆さまから、元気を
もらっています。ありがとうございます**

初めてのファシリテーター 緊張しました！ ～修復的対話(RJ)のワークショップ～

RJ講座を受講して3年が過ぎました。初めてサークルを体験した時は、サークルの楽しさはわかりましたが、サークルが修復的対話につながるのか、疑問に感じていました。

しかし、サークルキーパー(ファシリテーター)を体験することで、サークルの参加者への配慮や質問・話題の提供が、コンファレンスのファシリテーターにつながるのではないかと感じるようになりました。コンファレンスのファシリテーターには、まだまだ自信はありませんが、今後もRJの研修を続けていけたらと思います。

平田久実さん(甲賀市)

SSWLしが「修復的対話(RJ)」の受講生6名が「滋人教にんげん関係づくり

実践講座①」(滋賀県

人権教育研究会主催:

7月)において、サー

クルのファシリテ

ーターを担当しました。



研修会のお知らせ

【主催:スクールソーシャルワーク研究会しが】

RJ(修復的対話)ファシリテーター講座

ピースメイキング・ワークショップ

2018年2月17日(土) 13:30~16:30

会場 調整中

講師 郭 理恵さん

(NPO法人修復的対話フォーラム理事)

2018年度にRJファシリテーター養成のための連続講座(全3回)を開講します。その前に一度、RJサークルを体験してみませんか。

「かんちゃんの小さな家」 交流活動を県内に発信！！

～2018年も高校生の学習会や地域の研修会等を通して～

11月の第61回滋賀県人権教育研究大会特別分科会(野洲市)において、「自分の気持ちを聞いてもらえる、そんな場が必要なんですね～多文化共生・地域交流活動の中から～」という

タイトルで、かんちゃんと交流スタッフの廣川イヴィさんが報告しました。

台風の影響が心配されるなかでしたが、約180人の参加者に思いを届けることができました。これを機会に、県内各地の方々とのつながりが、より太くなっていくことを願っています。



相談ルーム／学習サポート教室／かんちゃんホットルーム(多文化共生・地域交流会：子ども食堂モデル事業)／子育てカフェ／スクールソーシャルワーク研究会しが／講座「修復的対話(RJ)」など 詳細は「かんちゃんの小さな家 ホームページ」をご覧ください！

子ども・若者相談ルーム



子育てや学校生活・卒業後の進路等で、困ったこと、気になることがあれば声をかけてください！

毎週水曜日の午後 13:00～18:00

他の曜日の場合は、個別に相談に応じます。
保護者・支援の方の相談も可（要予約）
お問合せ（かんちゃんの小さな家
携帯090-3708-331

スクールソーシャルワーク研究会しが ミニ事例学習会

1月21日（日）10:00～13:00

会場 かんちゃんの小さな家

**2018年も引き続き“応援
よろしくお願いします！”**

かんちゃんの小さな家
友の会に入会してください
活動支援カンパを
お願いします

友の会・活動支援カンパの振込口座
振込先銀行 滋賀銀行
支店名 安土支店
口座種別 普通
口座番号 403489
口座名称 かんちゃんの小さな家
代表 佐子 完十郎



※次号「第9号」は 3月の発行予定です！

交流会・研修会のご案内



かんちゃんホットルーム

第26回 1月28日（日）

10:30～13:00

会場 常楽寺老人憩いの家
ミゲルさんとひろみさんと一緒に、ボリビア
の料理“ピーナッツスープ”を作ろう
◆参加費:子ども 100 円・おとな 300 円

かんちゃんとまりこさんの子育てカフェ

11月から新しくスタートしました！次回の3回
目は、2月の予定です。（時間帯は 10:30～
11:45）下記の連絡先にお問い合わせください。
会場 かんちゃんの小さな家

せせらぎ（編集後記）

かんちゃんの小さな家の交流会がスタートしたのは、今から3年前の12月。初回は、参加者13人で楽しく手作りのパンを作ったことを覚えています。その後、「多文化共生・地域交流」という視点のもとで、そして、昨秋から「子ども食堂のモデル事業」として、この間、交流事業を年10回のペースで継続して開催してきました。今、静かに振り返るなかで浮かんできたのが、第1面のメッセージ…「たがいに つながりあい 頼りあえる ホットなコミュニティに！」「子どもがキラリと輝くとき～あなたの心も(私の心も)ぴよこんと動きだす(^_^)」。今の時代、これが大切な ことなんや！と、子どもたちと取り組むなかで教えられた貴重な視点です。一度でも来てくれた子どもが、誰にも言えず深い悩みの中にいるとき、「かんちゃんの小さな家」を訪ねてくれる、そんな「居場所」になれるよう、4年目の第一歩を踏み出しました。(か)



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2
携帯 090-3708-3315 (代表 佐子) FAX 0748-46-3283
e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp



